

# NEAL インストラクター養成講習

**趣旨** 自然体験活動の指導者を養成し、青少年をはじめとする多くの人々の自然体験活動の推進に寄与する。

**企画運営のポイント** 体験的に学びを深めてもらうため、各講義のなかにもできるだけ実践、実習を組み入れてもらった。また、「学校」へのアプローチ等について学ぶため、講師に、元国立施設の次長を招き、学校現場での実際を講義してもらった。

**期日**：令和元年10月1日（火）～10月3日（木）

**会場**：国立日高青少年自然の家

**対象**：NEALリーダーを取得し、演習Ⅰを修了している者

**人数**：6名



9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
10/1 火	開 会 式	自然体験活動 の 特 質  増田直広氏	昼 食	自然体験活動の指導  増田直広氏			休 憩	対象者理解①  増田直広氏	夕 食	対象者理解②  増田直広氏		
10/2 水	自然体験活動の技術  増田直広氏		昼 食	自然体験活動の 安全管理  濱谷弘志氏			休 憩	自然体験活動の 企画・運営①  山本幹彦氏	夕 食	自然体験活動の 企画・運営②  山本幹彦氏		
10/3 木	自然体験活動の企画・運営③  山本幹彦氏		昼 食	学校における 体験活動  小野俊英氏	休 憩	認 定 試 験	閉 会 式					



指導の極意を伝授中



実際に体験してみました



参加者が企画し、実践します

## 【成果】

- ・すでに現場に出ている参加者が多かったため、実践を交えた講義がとても有用であり、改めて学びなおすことができた。
- ・全国から参加があったため、それぞれの地域の特色や手法等、参加者間での交流をとおして、新たな気づきを得ることができた。
- ・「学校における体験活動」の講師を元次長であり、現校長である方に依頼したことで、「体験」に関する学校側と、体験活動指導者側の意識等のギャップを知ることができ、そのギャップを埋める手立てや考え方を学ぶことができた。

## 【課題】

- ・カリキュラムの特性上、7つのコマがあり、講師が入れ替わるため、全体をとおしたストーリー性や統一感のようなものが出づらく、講師がやりづらさを感じていた。今後は、講師間の情報共有をするための調整が重要である。